

こころがあそぶ、劇場。

舞台となるのは、約400名が入れる劇場。どの席からも舞台が近く、あたたかい雰囲気が自慢です。
 ここで、4つの「る」をキーワードに、さまざまなプログラムを実施しています。共通テーマは、「はじめてをおうえんすること」。
 子ども達がわくわくするものと出会うとき、一歩踏み出す勇気を出したいとき…
 その背中をそっと押してくれる、「舞台の持つパワー」を活かし、
 子ども達の「はじめて」を応援します！

こども文化センターガイド

でてみる

やってみる



舞台芸術にはじめてチャレンジ！
「やってみる」楽しさを体験！

- こども教室(ミュージカル教室、プラスバンド教室、こども喜劇教室、こども詩の会)など
- スタッフボランティア、はじめま専科(大人向け)など

みてる



コンサート、人形劇、演劇などの
“生”の舞台や映画を「みる」ことを楽しむ！

- こども劇場
- こども広場
- 春のこども文化まつり
- こども芸術劇場 など




子ども達の成果発表の場！
「出る」楽しさを味わえる！

- こども文化フェスティバル
- こども演劇フェスティバル など

4つめの「る」はなんだろう？
3つの「る」をみていきながら、
さがしてみよう！

次の
ページへ
GO!



◆なにをしているところ？
子ども達が人間性豊かに育つことを願い、1979年1月に開館した大阪市立こども文化センター。設立当初からの理念を引継ぎ、舞台芸術の“鑑賞・体験・発表”をキーワードに、赤ちゃんから大人まで、幅広い年齢に向けた、さまざまなプログラムを展開しています。(ホールでの鑑賞事業、舞台での発表事業、教室・講座等の創造事業、地域の文化活動に携わっている団体やグループとの交流・協働事業など)

◆開館前に、元となる施設があった。
戦後の荒廃した社会において、次代を担う子ども達が健やかに育つことを願い、昭和26年に宣言された「児童憲章」が表した理念の実現に向けての大阪市の取組の一環として、市民の「児童文化募金」からの寄付を受けて昭和30年に設立されたのが、当センターの前身である「大阪市立児童文化会館」です。